

令和元年度 第1回さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会会議録

○開催日時 令和元年8月20日(火) 10:30~12:00

○開催場所 さいたま市青少年宇宙科学館 第1会議室

○出席者：委員

清水 誠(委員長)、佐藤 度、長嶋美知子、矢部 尚、上原一孝
事務局

竹居秀子生涯学習部長、富田英雄青少年宇宙科学館長、野枝淳一館長補佐、
松井 健主任指導主事兼事業係長

○欠席者 委員

中島雅子、浅倉眞佐子、平川和明、今村豊子、八木澤龍馬

○公開・非公開の別 公開

○傍聴人 なし

○次第

- 1 開会のことば
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和元年度事業計画について
 - (2) 令和元年度事業の進捗状況について
 - (3) その他
- 4 閉会のことば

○問合せ先 教育委員会事務局 生涯学習部 青少年宇宙科学館
電話番号 048-881-1515

○議事（1）、（2）説明

1 運営基本方針

はじめに、本館の運営方針について御説明いたします。

青少年宇宙科学館は、「青少年の科学に対する関心を深め、科学教育の振興に寄与するとともに、未来社会に対応できる創造性豊かな青少年の育成を図る」ことを目的として、昭和63年5月に開館し、今年が開館31年目にあたります。

科学館運営では、

- ・青少年をはじめ、市民に親しまれる事業を通して、宇宙や科学に対する興味・関心を高める。
- ・学校教育との連携を深め、科学的な思考や学習意欲を高める。
- ・展示並びに普及事業等を通して、青少年の健全な育成を図る。

の3つを基本方針とし、「来館者に『夢』や『希望』をはぐくみ、来て良かった、また来たいと思っただけのような科学館」を目指して、事業を推進しております。

2 組織

次に、組織について御説明いたします。

科学館では、主に予算管理や契約事務を所管する管理係と、さまざまな事業の運営に携わる事業係の2つの係があります。管理係は、館長補佐と主査3名、施設の貸出等の業務を担当する臨時職員6名で構成されています。事業係は、係長1名と主任指導主事3名、指導主事3名、主査2名、科学指導員3名の計12名です。

3 令和元年度の主な事業計画

令和元年度の主な事業計画について御説明いたします。

はじめに、今年度より実施の「宇宙のまち さいたま」の推進です。こちらは、後ほど詳しくご説明いたします。

次に、展示事業です。当館は、企画展に大変力を入れております。今年度はまず、子どもたちに人気の「むしむしわ〜んど2019」を開催し、大変な人気を博しました。現在は、『夏休みこども科学館』の一環である「ワクワクプログラミング展」を開催しております。今後は、「ダンボール恐竜遊園地」「コスモアドベンチャー」など、小さな子どもたちが楽しめる企画展を計画しております。

プラネタリウム投影事業については、「ちびまる子ちゃん」をはじめ5番組の一般投影の他、プラネタリウム学習投影、幼児投影、特別投影を実施いたします。

他にも、今年度で2年目となる『若田宇宙飛行士アカデミー』を中心とした『若田光一宇宙飛行士関連事業』の充実を図ってまいります。また、普及事業等では、天体観望会・科学実験教室等に加え、今年度新たに『高校生ロケット教室（仮称）』の実施を計画して

おります。さらに、『スクール・サポート・サイエンス』事業といった学校との連携事業や、後ほどご説明します『学びのネットワーク』もこれまで同様尽力してまいります。

4 施設・設備面等の事業計画

今年度の施設・設備面等の事業計画です。

特に大きなものとしましては、当館の空調設備の老朽化に伴う大規模な改修工事に向けた準備です。また、今後はホームページのリニューアルやキャッシュレス化の検討も進める予定です。

5 事業の進捗状況

続きまして、本館の事業内容と進捗状況についてご説明いたします。

本館の事業は、大きく分けて4つあります。

1つ目は、企画展、作品展などを開催する展示事業、2つ目は、プラネタリウム投影事業、3つ目は、各種教室やワークショップなどの館内イベント、学校等支援を行う普及事業、最後は、館内のホールや会議室等を貸し出す事業です。

『宇宙のまち さいたま』事業についてご説明いたします。

さいたま市教育委員会では、子どもたちの宇宙へのあこがれや大きな志をはぐくむ教育を柱とした『宇宙のまち さいたま』を目指しています。ただいま、『宇宙のまち さいたま』ビジョンの策定と、11月末に予定しております【『宇宙のまち』フォーラム】の開催に向けて準備を進めております。

展示事業の取組についてご説明いたします。

本館では、「見て 触れて チャレンジできる科学館」をテーマに、さまざまな科学の分野について展示公開をしています。特に、企画展につきましては大変力を入れており、毎回多くの来館者の方々に好評を博しております。

それでは、今年度すでに終了しました各企画展の内容についてご報告いたします。

【企画展「ワクワクロボットランド」】

4月初旬から5月中旬まで開催した「ワクワクおもちゃランド」は、昔なつかしのものから最新のものまで、多数のおもちゃを用意し、小さな子どもから大人の方まで楽しく遊べるスペースを設置しました。特に昔のおもちゃは、なかなか触れる機会がないため、子どもたちには新鮮だったようです。保護者に遊び方を教わりながら一緒に楽しむ姿が多く見られました。

【企画展「むしむしわ〜るど 2019」】

5月下旬から7月中旬まで開催した「むしむしわ〜るど 2019」は、昆虫ふれあいルームや巨大シロアリの巣バルーンがNHK他マスコミに多数取り上げられ、1カ月半という短い期間の開催でしたが、約3万人の来館者を迎えることができました。特に本企画展の目玉である『昆虫ふれあいルーム』には、開始から整理券を求めて長蛇の列ができるな

ど、大変な賑わいとなりました。

【企画展「夏休みこども科学館まつり」】

8月18日まで、企画展「夏休みこども科学館まつり」を開催しました。こちらは、小さな子どもから大人の方まで簡単なものづくりが楽しめる「ワクワクワークショップ」、micro:bitを使ったプログラミング体験やドローンの操縦が体験ができる「ワクワクプログラミング体験」、子どもたちの自由研究を応援する「ワクワクサイエンスショー夏休み自由研究スペシャル」の3つを柱とした複合企画です。中でも、ワクワクワークショップは連日、多くの親子連れでにぎわいました。また、本企画展の運営には、博物館実習生の他、中高生科学館ボランティアも関わっています。後ほど改めてご説明いたします。

【プラネタリウム投影事業】

プラネタリウム投影事業についてご紹介いたします。

今年度は一般番組5本と、50分間の生解説でお送りする宇宙散歩、さらに、特別投影を5回実施する予定です。

4月より投影しておりました『ムーミン谷のオーロラ』は、飯能市にオープンした『メッツァビレッジ』の影響もあってか、大変多くの方にご覧いただくことができました。現在、『ムーミン谷のオーロラ』は投影をいったん休止しておりますが、1月から再投影を予定しております。また、夏休みからスタートした『ちびまる子ちゃん』『しまじろう』も安定した人気を誇っております。

【学習投影】

さいたま市は、政令指定都市としては唯一、毎年、全ての市立小学校4年生、中学校3年生、特別支援学校の児童生徒を対象に、「プラネタリウムを活用した学習利用」を実施し、児童生徒に宇宙の素晴らしさを体感させる機会を提供しています。

今年度も5月から、小学校4年生の学習投影を行っております。また、9月下旬からは中学校3年生の学習利用もスタートします。

【幼児投影・七夕投影】

市内の幼稚園・保育園の園児を対象とした投影も行っています。

幼児投影は、今年度の10月から3月にかけての実施を予定しています。

今年度の七夕投影は、7月2日、3日の2日間で行われました。今年度も多くの園に参加していただき、子どもたちから星空の美しさに歓声が上がっていました。

【若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース】

『スペースコース』では、宇宙に関する講義や体験、筑波宇宙センターでの宇宙飛行士模擬訓練体験等を通して、宇宙飛行士に必要な資質・能力をはぐくむことをねらいとしています。今年度は定員24人のところ、41人の応募があり、書類選考で参加者を決定しました。最終回である第5回は、8月23日に実施予定です。

【若田宇宙飛行士アカデミー ロボットコース】

『ロボットコース』は、ロボット作り等を通して、ロボットや科学技術への興味・関心を高めるとともに、発想力や創造力を伸ばし、問題解決能力と最後までやり抜く力などを養うことをねらいとしています。

今年度も、子どもたちが自らの興味・関心や発達段階に応じて自由に選択できるよう、3教室・6講座を開催予定です。

【若田名誉館長杯ロボット大会・コズミックカレッジ】

『若田名誉館長杯ロボット大会』と『コズミックカレッジ』についてご説明します。

8月25日（日）に若田名誉館長杯ロボット大会『キャリア・シュートロボット大会』を開催します。この大会は、さいたま市内の子どもたちがチームや部活動の仲間とともに、ロボット作りに夢中になるイベントとして定着しています。

今月1日から始まった練習期間には、多くのチームが科学館にあるコースで毎日練習し、ロボットの改造を重ねています。当日も優勝を目指して白熱したレースが展開されることでしょう。なお、次年度は『ローバーロボット大会』を開催する予定です。

また、12月1日と3月1日には、JAXAが開発した宇宙をテーマにした体験型学習『コズミックカレッジ』を、本館と大宮の宇宙劇場の両会場で開催します。キッズコースでは小学1・2年生と保護者を、ファンダメンタルコースでは小学3年生から中学生を対象に、科学や科学への興味・関心を高めるプログラムを実施予定です。

【教室事業】

次に、教室事業についてご説明いたします。

本館では、市民の方々を対象に、天体観望会をはじめとした様々な教室事業を実施しています。

また、毎週土曜日の定例ワークショップや、「科学戦隊さいレンジャー」が活躍する年4回の特別サイエンスショーなどの館内イベントも人気を博しています。

【教室事業一覧】

今年度の本館の教室事業一覧です。

先程ご説明いたしました天体観望会をはじめ、どの教室も非常に人気が高く、毎回多くの方に御応募いただいております。これらの教室の講師は、多くのボランティアの方々に御協力をいただいております。今後も、ボランティアの方々と協力し、教室事業の充実に努めてまいります。

【スクール・サポート・サイエンス事業】

学校等支援事業の『スクール・サポート・サイエンス』についてご説明いたします。

本事業は、市立小・中・中等教育学校に当館の職員を派遣し、小学3年生と6年生の出前授業と出前天体観望会を行うものです。今年度は、11月から2月にかけて、出前授業17校、出前天体観望会10校の受入を予定しております。

【サイエンスフェスティバル】

同じく学校等支援事業の「サイエンスフェスティバル」についてご説明します。

「サイエンスフェスティバル」は、市内の中・高等学校の科学部等の生徒が、来館者に向けてワークショップやサイエンスショーを行うイベントです。昨年度は、中学校 11 校・高等学校 2 校の、合計 13 校、151 名の中高生が参加し、来場者も 2818 名と大盛況でした。今年度も多くの学校に参加してもらえよう、積極的に呼びかけてまいります。

【中高生科学館ボランティア】

『中高生科学館ボランティア』は、中・高等学校の生徒が夏休み期間に科学館でボランティア活動を行うものです。

今年度は、昨年度を上回る 117 人が参加し、企画展『夏休みこども科学館まつり』の運営補助を体験しました。来館者とのやりとりを重ねるごとに、元気な挨拶ができたり、進んで小さい子どもたちの手伝いをしたりと、積極的な姿を見ることができました。

【学びのネットワーク】

昨年度からスタートしたさいたま市生涯学習「学びのネットワーク」は、さいたま市内の科学館、宇宙劇場の他、図書館、公民館、博物館など多種多様な生涯学習関連施設が連携して行うイベントです。市民の皆様が東京オリンピック・パラリンピックにおいて、郷土さいたま市の歴史や文化、まちの魅力を発信していただけるよう、同じ時期に同じテーマで、各施設の特色を生かした多様な学びの場を市民の皆様を提供します。また、各施設にはスタンプがあり、スタンプを集めると景品を贈呈するスタンプラリーも実施します。

令和元年度のテーマは「藍～Japanese Blue～」です。今年度は令和 2 年 3 月 14 日～5 月 17 日を予定しています。科学館のイベント内容につきましては、現在検討中です。

【展示更新「きっずコーナー・図書コーナーリニューアル」】

6 月中旬から 7 月上旬にかけて、当館 2 階の『きっずコーナー・図書コーナー』のリニューアルを実施しました。

新しい『きっずコーナー』には、子どもたちがおもちゃで自由に遊べるスペースと、来館者の方々が休憩できるソファを設置しました。夏休みも毎日多くの方にご利用いただいております。また、新しい『図書コーナー』には、明るい雰囲気のみとす、大きな本棚を設置し、落ち着いて本を読めるスペースとして生まれ変わりました。こちらもぜひご覧ください。

6 統計

【入館者数】

今年度の 4 月から 7 月までの入館者数です。

4 月から 6 月までは、プラネタリウム番組『ムーミン谷のオーロラ』や企画展『むしむしわ～るど 2019』が好評だったこともあり、昨年度を上回る方入館者数となりました。

7月の入館者数は昨年度よりやや減少しております。昨年度が好調なのは、6月下旬のプラネタリウムリニューアルに伴い、一時的に入館者数が急増したためと考えられます。

【プラネタリウム入場者数】

こちらは、今年度の4月から7月までのプラネタリウム利用者数です。

昨年度は6月下旬までプラネタリウムが休止しておりましたので、単純な比較ができません。

参考までに、平成29年度と比較しますと、4月から6月までのすべての月で、平成29年度を上回っております。

4月からの新番組『ムーミン谷のオーロラ』『ポラリス 2』が好評であったためと考えられます。

7月を見ますと、やはり昨年度はプラネタリウム番組『ポケットモンスター』が大変好評であったため、今年度はやや減少傾向にあります。

【貸部屋利用者数】

貸部屋利用者数につきましても、昨年度と比較して好調を維持しております。

7 報道発表概要

【報道発表概要】

最後に、広報関係について御説明いたします。

今年度もNHKをはじめ、J:COM ニュース、テレビ埼玉といったテレビ番組や新聞、雑誌等に取り上げていただいております。また、6月末には新たに公式twitterを立ち上げ、館の最新情報を発信しております。現在のフォロワー数は100名です。さらに、記者発表資料の提供も随時行っております。今後も積極的な広報を推進してまいります。

以上で全ての説明を終了させていただきます。

○議事(1)、(2) 質疑内容

質疑応答

委員長 事務局より事業計画と進捗状況を説明していただきましたが、質問や意見等何かございましたらお願いします。

委員 宇宙は目にするのは不可能だが、ニュースを通して、働きかけないと関心を持ってない。鑑賞に訴えるのは重要。ここにくるとそれがあるというのは大きいと思う。

- 委員 常設展示にあまり変化が見られない。デジタル時代なので、少しずつ変えていかれたほうが良いと思う。プログラミング展の反応はどうでしょうか。
- 事務局 常設展示については、限られた予算の中で少しずつ対応できればと思っております。また、プログラミング展は大人の方の関心が思ったより高いです。特にドローンは高評価です。
- 委員長 リピーターがどれくらいいるかは重要だと思いますが、把握はしていますか。
- 事務局 企画展のアンケートなどでリピーターがいらっしゃるの、把握しております。
- 委員 車で来館する人が多いと思うが、駐車場の台数があまりない。公共機関を使ってくるのはなかなか厳しいと思う。今後は中高生や大人が興味を持つものが科学館にあることが大事ではないか。
- 事務局 主に中高生の足が遠のいていると感じておりますが、今年度は平川委員のご協力で高校生ロケット教室の計画があります。その他、今後、プラネ番組、講演会などを考えております。
- 委員 ロボット大会を大会として大々的に発信したほうが良いのではないかと。参加率が上がると思う。とても良い試みであると思うので。
- 事務局 今度の日曜日に大会があるので、それを含めて検討してまいります。
- 委員 科学館において、ターゲットがあるとは思いますが、小学生をターゲットにすれば来館者増につながると思う。来ていただくにはどうするか。館内でPRビデオを流したり、流星群の案内などを館内で行ってみるのも良いと思う。
- 委員長 パソコン用にホームページを作成してもほとんど見てもらえない。スマホ用のホームページが重要である。アンケートもスマホで行えれば良いのではないかと。

事務局 今年度、ホームページの更新を行います。ご意見を全て反映するのは難しいですが、市民の方が閲覧しやすいホームページの作成を行ってまいります。

委員 この運営委員会でのわれわれの意見をいつも実現していただいているので、今回の意見も反映していただけるとありがたい。

事務局 この場で委員の皆様からいただく貴重な御意見は、なるべく反映できればと考えております。

委員 今年度、ふれあい広場にパンの自販機が設置されたのはとてもありがたい。コンビニがあまり近くないので助かっている方が多いと思う。

委員長 宇宙のまち さいたまのミッション、進化する科学館に期待したいと思います。

それでは最後になりますが、事務局は今回の運営委員会での委員の皆様方の御意見、御希望などを取り入れて今後更なる青少年宇宙科学館の適切な運営に努めていただければと思います。